

市政記者各位

令和8年8月27日

**第26回 福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンスの成果展
『視差—いつもそこに在るもの』**

福岡アジア美術館が招聘した3人のアーティストたちは、コミュニティ、聖なるもの、戦争の記憶などをテーマに、それぞれの視点から私たちの身近に在りながらも、ときに見過ごされてきたものに目を向け、作品制作を進めてきました。

FaN Week期間中に開催する本展では、各アーティストたちが異なる場所や時間から見つめなおした、その「視差」から浮かび上がる福岡の姿を、絵画や版画、立体作品を通してご紹介します。是非広報にご協力をお願いいたします。

会 場:Artist Cafe Fukuoka (福岡市中央区城内2-5)内 スタジオ、ギャラリー**会 期:**2026年9月19日(土)~10月5日(月) 11:00~19:00 ※最終日は15:00まで**観覧料:**無料 ※9月24日(木)、28日(月)は休館

※同時開催:「伊藤隆介 / 福博風景考: 時を駆ける少女は飛翔の夢を見るか?」

会 場:グランドスタジオ **会 期:** 9月19日 (土) ~10月12日 (月・祝)**アムシャド・スヌワール
(ネパール)**

滞在期間: 7/15~10/8

ネパールでの経験から人とコミュニティとのかわりについて考察。人々へのアンケートとフロッタージュ(こすり出し)の痕跡を元に風景画を制作する。

**ハン・ハン
(ベトナム)**

滞在期間: 7/16~10/8

日常に潜む聖なるものを求めて福岡の寺社や舞台などを見学。氷の変化する姿や福岡で採取した土を用いて、鑑賞者の知覚を問い直す空間を作り上げる。

**イアン・ティー
(シンガポール)**

滞在期間: 7/15~10/8

福岡に残る戦争の歴史や、福岡出身の画家・中村研一について調査。アジアの戦争の歴史や、それが現代にどう引き継がれているのかについて描き出す。

アーティスト・トーク

3人のアーティストが、完成した作品の前で制作や福岡での滞在について語ります。

日時:9月20日(日)14:00~16:00 **集合場所:**Artist Cafe Fukuoka ピロティ**申込不要・参加無料 ※逐次通訳あり**